

事業番号	10 05 14	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	信州ジビエ活用推進事業			担当課	部局	林務部	
					課・室	森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-3 農山村産業クラスター形成プロジェクト 9-2-3 信州ブランド確立プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:choju@pref.nagano.lg.jp">choju@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1選ばれる観光地づくり 1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			実施期間	H16 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	野生鳥獣との緊張感ある棲み分けと野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除・捕獲・生息環境の各対策の総合的な実施と併せて、捕獲した個体を地域の有用な資源として活用を進めるため、民間との協働により信州ジビエのブランド化を目指して総合的なジビエ振興を図り、農山村の活性化に資する。		
現状 (予算編成時)	○野生鳥獣の農林業被害はここ数年微減傾向であるが、依然として高い状況：農林業被害額11億5千万円(H25) ○ニホンジカの捕獲頭数が増える中、ジビエの需要量の拡大が課題：H24ニホンジカ捕獲頭数33,668頭、利用推定頭数1,564頭、利用率4.6%		

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県全体で深刻化しているニホンジカの被害対策として県では捕獲対策の強化を図っており、県としても地域の有用な資源としてのジビエを有効活用することで、地域振興につなげる取組を推進する必要がある。
	県民との協働による実施： 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)			
	○ジビエとして利用するニホンジカの頭数 現状(H24) 1,564頭→ 目標(H27) 2,280頭 ○ニホンジカの捕獲目標の達成 捕獲目標 40,000頭			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H27実施内容	H27 (補正前) 2月補正(追加分) (補正後)
信州ジビエ消費拡大事業	直接委託	・信州産シカ肉のブランド力を強化するため、「味」に影響を及ぼす成分の分析や、信州の名産品となる商品を開発 ・信州ジビエの流通に意欲のある事業者を募集し、人材育成等の実施 ・県内の野生獣肉の安全性を確認するため、放射性物質検査を実施	29,427 -2,700 26,727	
信州産認証シカ肉供給体制整備事業	補助金	・既存の獣肉処理施設が認証を取得するために、必要な機材、設備等の購入に係る経費を支援	1,500 1,500	
信州ジビエ人材育成事業	直接	・ジビエに適した捕獲・処理を適切に行える信州ジビエハンターを養成 ・適切な処理で美味しいジビエ料理を提供できる信州ジビエマイスターを養成	2,000 2,000	
合計			32,927 -2,700 30,227	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27補正後
	前年度繰越				
	当初予算	342	8,716	24,458	24,927
	補正予算				5,300
	合計(A)	342	8,716	24,458	30,227
	一般財源	171	350	2,695	2,427
	県債				
	国庫支出金	171	350	17,150	17,300
	その他	0	8,016	4,613	10,500
	決算額(B)	342	8,716	7,061	
概算職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
概算人件費	8,258	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	8,600	16,974	15,319	38,485	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
ジビエとして利用するニホンジカの頭数	集計中	2,280頭			
ニホンジカ捕獲頭数	39,506頭	40,000頭			

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------